

参加費 (2月1日(木)フォーラム) **無料**  
(2月2日(金)バスツアー)

レセプション参加費 (2月1日(木)レセプション) **5,000円**  
\*費用は当日、現金にて徴収いたします。

参加申し込み方法

●お申し込み先 (FAX、e-mail又はURLにてお申し込み下さい。)

水素先端世界フォーラム事務局

\*会場の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込み下さい。

FAX **092-852-5889**

e-mail [suiso@zenith-j.co.jp](mailto:suiso@zenith-j.co.jp)

URL <http://www.zenith-j.co.jp/suiso>

参加申込書

企業名・団体名・学校名	
ご所属・役職	
ご氏名	
TEL	
FAX	
住所 〒	
e-mail	
2月1日(木) セッション1 (同時通訳あり)	*左右いずれかをチェック下さい <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
2月1日(木) セッション2 (同時通訳なし)	*左右いずれかをチェック下さい <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
レセプション(5,000円/1人)	*左右いずれかをチェック下さい <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
2月2日(金)バスツアー 第1部キャンパス視察	*左右いずれかをチェック下さい <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
2月2日(金)バスツアー 第2部ワークショップ	*左右いずれかをチェック下さい <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
●次回以降、類似のイベントを実施の際にご案内させていただきたく存じますが、お差し支えのある方は右空欄にチェック下さい。 <input type="checkbox"/>	

ACCESS MAP

交通のご案内

2月1日(木)フォーラム会場

ホテルオークラ福岡URL:<http://www.fuk.hotelokura.co.jp/>



- 地下鉄中洲川端駅と直結
- 福岡空港から地下鉄で10分、お車で20分
- JR博多駅から地下鉄で5分、お車で10分

2月2日(金)バスツアー会場

九州大学URL:<http://www.suisin.kyushu-u.ac.jp/>



- 貸切バスで送迎致しますので、参加申込書にてお申し込みの上、2月2日(金)9:30にホテルオークラ福岡1Fロビーにご集合下さい。(時間厳守にてお願い申し上げます。)

# International Hydrogen Energy Development Forum

参加無料  
先着300名  
\*レセプション参加費別途

## 水素先端世界フォーラム

日時 Date 平成19年 2月1日(木)・2日(金)  
9:30~19:00 第1部10:30~12:00  
第2部13:30~17:30

場所 Place 1日目:ホテルオークラ福岡  
福岡市博多区下川端町3-2  
2日目:九州大学伊都キャンパス  
福岡市西区元岡744

主催:福岡水素エネルギー戦略会議、独立行政法人産業技術総合研究所、  
国立大学法人九州大学、文部科学省21世紀COEプログラム  
「水素利用機械システムの統合技術」グループ(九州大学)

お問い合わせ先  
福岡水素エネルギー戦略会議(福岡県商工部新産業・技術振興課内)  
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7  
TEL092-643-3448

■お申し込み先  
水素先端世界フォーラム事務局

▲FAX 092-852-5889

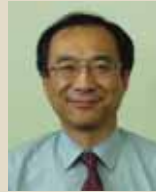
9:30~9:50

## 開会式

9:50~12:00

## セッション1 「世界企業の水素ビジネス戦略とセンターへの期待」(同時通訳あり)

9:50~



### 燃料電池自動車の開発とセンターへの期待

略歴

1979年3月、名古屋大学工学部原子核工学卒業、81年3月、同大学院結晶材料工学専攻を卒業の後、同年4月、トヨタ自動車工業株式会社に入社。  
82年、トヨタ自動車株式会社へ社名変更後は、セラミック、排ガス触媒、電池、水素貯蔵材料などの材料開発に従事。  
2005年1月より、同社FC開発部部長となり、現在に至る。

トヨタ自動車株式会社  
FC開発本部FC開発部長  
小島 康一氏

10:35~



### 次世代エネルギーへの挑戦 —グローバルな水素ビジネスの創造に向けて—

略歴

バーミンガム大学卒業後、シェル石油入社。ベネズエラ、ナイジェリア、日本、オランダ等に赴任し、供給、トレーディング、M&A、戦略、原油・ガス生産等、多分野で重要な役割を果たす。シェル・ハイドロジェン加入前にはバイオ燃料のジョイントベンチャー設立に関わる。2006年1月より現職。

シェル・ハイドロジェン  
副社長  
Duncan Macleod氏

11:20~



### ヨーロッパにおけるエア・リキード社の水素社会への取り組み

略歴

パリ大学 大学院にて生物学と化学を専攻ののち、ハーバード大学にて修士号を、仏・理工学専門大学にてMBAを取得。エア・リキード入社後は、エンジニア、マーケティング部門等を経て、2002年エア・リキードR&D部門のバイスプレジデントに就任。現在、欧州水素・燃料電池テクノロジー・プラットフォーム (HEP) の評議会メンバー並びに同プラットフォーム普及促進協議会の議長等も務める。

エア・リキード社  
バイスプレジデント  
R&D 事業本部長  
Francois Jackowicz氏

13:30~17:15

## セッション2 「水素関連新技術開発に向けた挑戦」(同時通訳なし)

### オーガナイザー



略歴

1943年生まれ。九州大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了。株式会社製作所日立研究所等を経て、現在、九州大学大学院工学研究科機械科学部門材料強度学教授。シェフィールド大学名誉教授。材料強度学の世界的な賞ヴェーラー・メダルを98年に受賞。専門は材料力学、金属疲労、破壊力学、応用解析、トライボロジー。著作多数。  
2005年11月、九州大学理事・副学長就任。  
2006年7月、産総研「水素材料先端科学研究センター」センター長就任。

水素材料先端科学研究センター長  
九州大学教授  
村上 敬宣氏



### 水素脆化における微視組織の役割を明らかにするための材料工学/材料力学アプローチ

略歴

1987年イリノイ大学博士課程修了(理論及び応用数学)。材料の水素脆化の研究に20年近く取り組み、現在はイリノイ大学材料研究所の教授として活躍中。水素による材料中の亀裂生成を初めて合理的に理論として説明。米国国立科学財団賞やフォード自動車賞など受賞歴多数。

イリノイ大学教授  
Petros Sofronidis氏  
水素材料強度  
特性研究チーム



### 水素ガス環境中で使用される鉄系合金の性能予測

略歴

1974年リーハイ大学博士課程修了(製錬及び材料科学)。バージニア大学材料科学部長。原子力、航空宇宙、船舶などに利用される各種材料の材料科学研究の第一人者。Nasaをはじめとして多くの企業や政府の研究にも携わっており、米国材料試験協会賞や米国金属学会賞など受賞歴多数。

ヴァージニア大学教授  
Richard P. Gangloff氏  
水素材料強度  
特性研究チーム



### 繰り返し塑性変形における水素の作用機構について

略歴

1962年生まれ。1992年ボルドー第一大学博士課程修了(機械工学)。金属材料の応力腐食割れ、腐食疲労、水素脆化などの分野における研究で著名。産業界との研究プロジェクトを指揮するとともに、フランス国立科学研究センターとの共同研究のリーダーや、欧州腐食学会のワーキンググループの議長として活躍中。

ボルドー第一大学教授  
Jean-Marc Olive氏  
水素材料強度  
特性研究チーム



### トライボロジーにおける水素

略歴

1958年生まれ。1986年、東京大学大学院工学系研究科航空学専門課程博士課程修了。現在、九州大学大学院工学研究科機械科学部門教授。主として表面粗さに関連したトライボロジーと機械要素設計の研究に従事。現在、HYDROGENIUSの水素トライボロジー研究チーム長を務める。

九州大学教授  
杉村 丈一氏  
水素トライボロジー  
研究チーム



### 中国における水素エネルギー・燃料電池の先端研究

略歴

1961年生まれ。1988年清華大学大学院熱能工系博士課程修了。先端材料の熱物性計測、電子機器の冷却、超音波技術の熱工学への応用等の研究で極めて創造的な成果を収め、これまで140を超える学術論文を国際学会誌に発表。現在、カーボンナノチューブ等のナノスケールでの熱物性および再生可能エネルギーの応用等の研究に精力的に取り組む。

清華大学教授  
張 興氏  
水素物性  
研究チーム



### 分子動力学法の材料強度への適用(水素効果の研究へ向けて)

略歴

1948年生まれ。1977年東京大学大学院工学系研究科原子力工学博士課程修了。計算固体力学、破壊力学、材料強度学をベースに各種材料(金属、機能性単結晶材料、複合材料など)および各種構造体(圧力容器、配管、電子デバイス、電子実装など)の強度信頼性評価に関する研究に取り組む。

京都大学教授  
宮崎 則幸氏  
水素シミュレーション  
研究チーム

# International Hydrogen Energy Development Forum

17:30~19:00

## レセプション

2/2 [金]

## バスツアー ※貸切バスにて移動しますので、ご希望の方は必ず事前にお申し込みの上、2/2(金)9:30にホテルオークラ福岡1Fロビーへご集合下さい。

### 第1部

### 九州大学伊都キャンパス視察

- 時間/10:30~12:00 ●場所/九州大学伊都キャンパス
- 内容/水素関連の研究開発拠点整備が進む九州大学伊都キャンパスでの取組を紹介いたします。

### 第2部

### 水素材料強度特性研究チームワークショップ(同時通訳なし)

- 時間/13:30~17:30 ●場所/九州大学伊都キャンパス
- 内容/水素材料先端科学研究センターの水素材料強度特性研究チームによるワークショップを開催します。